

NINA ARICAの取り組み①

「おりおーて広島LGBTQ+シニアサポート」（セクシュアル・マイノリティの方々の居場所作り）



広島県に住む当事者が自分らしくふるまい、語り合うことができるコミュニティスペースを作り提供しました。

二つの交流会を広島市中区で開催しています。その一つ、40歳以上を対象とした、「おりおーて広島LGBTQ+シニアサポート」からご紹介します。



おりおーて広島LGBTQ+シニアサポートは
ゆっくり語り合う場として
シンプルな交流会を開催しています

同じ時代背景を持つ参加者同士
お菓子をつまみながら
気兼ねなくおしゃべりしましょう

40歳以上で、ご理解のある方なら
どなたでもご参加いただけます

お申し込みは不要です

2024年開催日

8月25日 日曜日

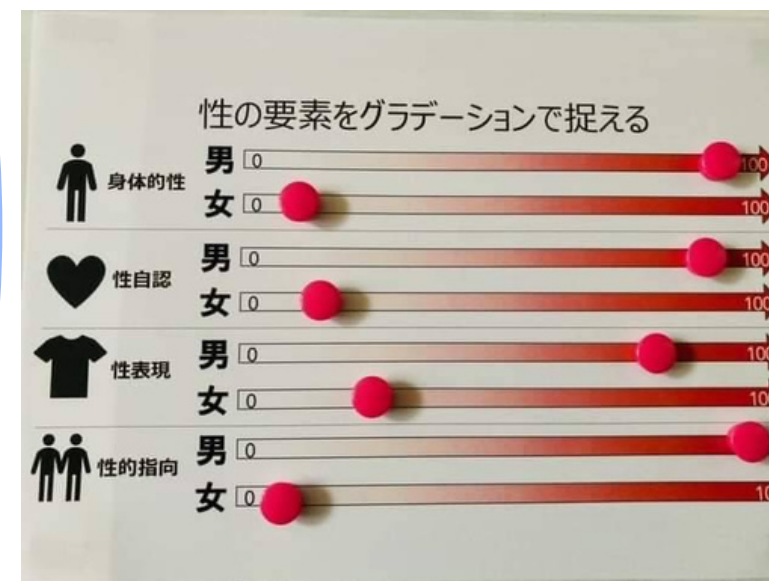
10月20日 日曜日

12月15日 日曜日

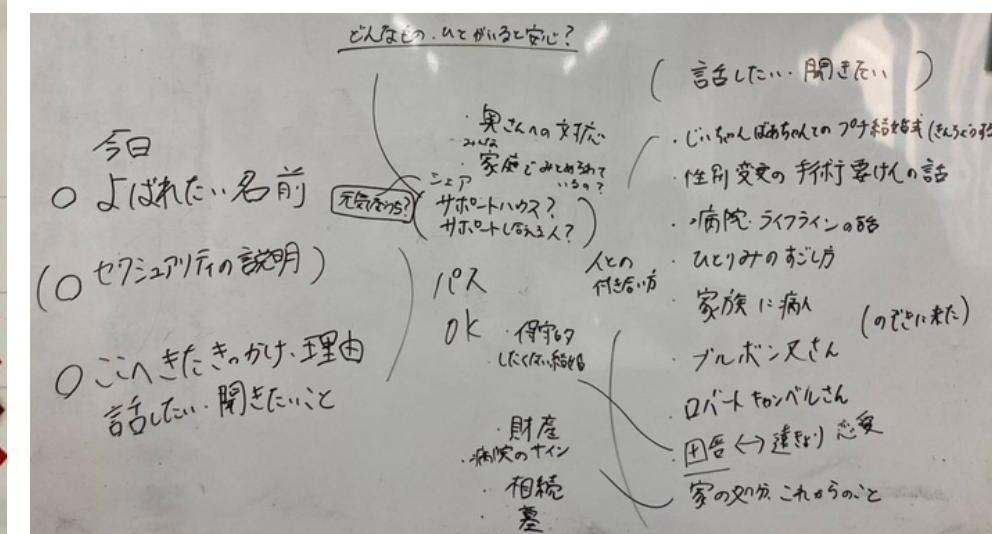
全日14:00～16:00

場所：HAP-B（就労継続支援B型）
広島市中区橋本町4-1村岡ビル2F

「SOGIボード」自己紹介時に使用します



自己紹介時に皆様から話したいテーマをお聞きして板書



日本の高齢者人口は2025年には3,677万人に達すると発表され、既に超高齢化社会に突入しています。それに比例するようにLGBTQ+当事者であり高齢期にある方々から、様々な相談を寄せていただくことが増えてきました。また、別団体が運営している「LGBT電話相談」で、高齢期にある方をどこかにつなぎたくてもつなぎ先がないといったことから、私たちがスペースや居場所を作るしかない、という経緯で始めた取り組みです。昭和に生まれ、家父長制度が今よりもっと強固であった時代を生き抜いて、現在高齢になられた方々を癒すことができるのはLGBTQ+コミュニティでしか本当の意味で癒すことはできません。そういったことからコミュニティのスペース内でエンパワーしあうことを大きな目的としています。当事者同士、またはALLY（理解者）と当事者といった交流会に参加する人同士の「横のつながり」が増えていき「ピアサポート」しあうといったアプローチを拡充させていく必要性を強く感じています。広島県内に住む当事者の方々が、家族制度の枠外で、性自認や性的指向を隠すことなくソーシャルサポートを得るためには、当事者同士、当事者とALLYがピアサポートしあっていくことが現時点では必要不可欠です。なぜならば、セクシュアル・マイノリティの方々は、現行の福祉サービスの網からはこぼれ落ちてしまうからです。ある方は、新聞紙で巻いたお手製のお弁当を持参して来られ、「ここに来ると元気になる。年老いていく自分を自分で支えるために毎回きています」と語り、県北から2時間以上かけて参加されます。その方は電車ではなく「汽車」で来たと言われます。私たち主催者側にとってはリピーターの方からの上掲のような意見をきくたびに胸にせまるものを感じずにはられません。おりおーて広島という「居場所づくり」を継続していくことの重要性を毎回実感させられています。

NINA ARICAの取り組み②

全世代型交流会「つながり座」（セクシュアル・マイノリティの方々の居場所作り）



広島県に住む当事者がありのままの自分でふるまい、語り合うことができるコミュニティスペースを作り提供しました。二つ目は、セクシュアル・マイノリティ全世代型交流会「つながり座」をご紹介します。

ニーナアリカ主催 セクシュアル・マイノリティ全世代型交流会

つながり座
SOCIAL COMMUNITY

参加申込み

つながり座は
広島市内で
2か月に一度
開催する
交流会です
お菓子を
つまみながら
ゆっくり
会話ししょう

参加費：500円
場所：HAP-B

広島市中区橋本町4-1 村岡ビル2F
(広島駅から徒歩10分、RCC文化センター斜め前
ROYAL HOST裏の道路角のビルの2階です)

7月21日、9月8日、11月10日
*全日曜日14:00-16:00開催



ニーナアリカ主催
セクシュアル・マイノリティ
全世代型交流会「つながり座」

つながり座は 広島市内で
2か月に一度 開催する
交流会です
お菓子を つまみながら
ゆっくり 会話ししょう

当事者でなくても
理解のある方は
参加OKです

2024年開催日
7月21日 日曜日
9月8日 日曜日
12月15日 日曜日
全日14:00～16:00

場所：HAP-B
(就労継続支援B型)
広島市中区橋本町4-1
村岡ビル2F

初めにルール等を説明します

つながり座のルール

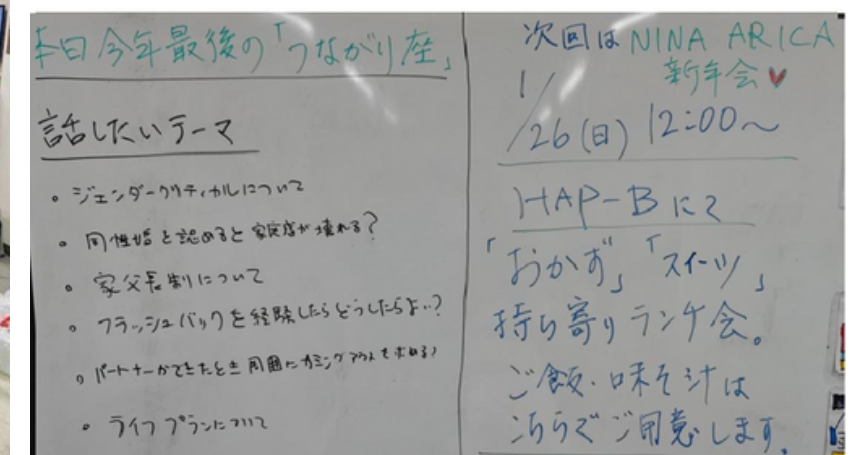
話す範囲は自分が決める ・セクシュアリティも含め 話せる範囲で大丈夫です ・話したくないことは 言わなくてOK ・聞く側も無理に 聞き出そうとしない	今日の話はここだけの話 ・今日ここで 見たたり聞いたことは 外では話しません ・写真を撮られたくない人は あらかじめ教えてください	自分の意見を押し付けけない ・自分の意見を 他の人に押し付けることは やめましょう ・人の話を頭ごなしに 否定しないようにしましょう
--	--	---

安心・安全な場を作るため
ご協力よろしくお願い致します

ルール等説明風景（写真NGな人が多く
撮影機会はほとんどない）



自己紹介時に皆様から話したいテーマをお聞きして板書



ある日のつながり座では、ゲイのカップル（男性二人）が同居を始めるとのこと、不動産賃貸契約を結ぶ時点で関係性を担当者に話しておいた方がいいのか、大袈裟にせず黙って同居する方がいいのか、後で大家さんとトラブルにならないか等のテーマで皆で話をしました。広島市は「同性パートナーシップ宣誓制度」の導入も決して早くなく、まだ広島県での導入はありません。そのような「保守的」な地域性で、同性での同居は大問題なのです。広島県は転出超過数全国一位とのこと。この結果からもシスジェンダーでヘテロセクシュアルであっても広島から転出を選択する環境で、性的マイノリティにとってはさらに生きづらい地であるといえます。加えて、ゲイ、バイセクシュアル男性の自殺未遂リスクは異性愛男性（シスジェンダー）の約6倍というデータも出ています。セクシュアリティに悩む幼い頃からずっと「どんな人と結婚したい？」という問いに、いつも嘘をつかなくてはならなくて自己を肯定出来なかったのは、本人の問題ではなくて社会の問題であるはず。つながり座というコミュニティスペースでは、自身の経験を語り、そして他者の経験を聞くことで、参加者全員でエンパワーしあうといった、社会で負わされた傷をコミュニティ内で癒しているとも考えられます。年上の参加者からアドバイスを受けて、「しんどい相手とのコミュニケーションを少し工夫して、もう一度試みてみよう」とか、ほんのちょっとパワーアップしてくれたような感想（アンケートでも）をいただくことがあり、その度に「やってよかった」と運営側は喜んでいきます。つながり座は全世代型の交流会です。人生においての「活動期」の方が多く参加されます。そのため、おりお一て広島と比較すると参加者は流動的かもしれません。でも、例えばしんどいことがあったときに「つながり座」を思いだして、またふらっと参加できる、そんな「場」でありたいと考えています。